

2014年全学群第2問

2 $0 \leq \theta \leq \pi$ とする。関数 $f(x) = x^2 - 2x \cos \theta + \sin^2 \theta$ について、以下の間に答えなさい。空欄には下の選択肢から選びその番号をマークしなさい。

- (1) $f(x)$ の最小値が 0 となるのは、 $\theta = \boxed{2}$, $\boxed{6}$ のときである。ただし、 $\boxed{2} < \boxed{6}$ とする。
 (2) 方程式 $f(x) = 0$ が実数解をもたないとき、 θ の取りうる値の範囲は、 $\boxed{ナ} < \theta < \boxed{ニ}$ である。
 (3) 方程式 $f(x) = 0$ の 2 つの解がともに負となるとき、 θ の取りうる値の範囲は $\boxed{ヌ} \leq \theta < \boxed{ネ}$ である。

選択肢： ① 0 ② $\frac{\pi}{6}$ ③ $\frac{\pi}{4}$ ④ $\frac{\pi}{3}$ ⑤ $\frac{\pi}{2}$ ⑥ $\frac{2\pi}{3}$ ⑦ $\frac{3\pi}{4}$ ⑧ $\frac{5\pi}{6}$ ⑨ π

$$(1) f(x) = (x - \cos \theta)^2 - \cos^2 \theta + \sin^2 \theta$$

\therefore 最小値が 0 となるのは $-\cos^2 \theta + \sin^2 \theta = 0$ のとき。

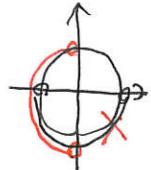
すなはち $\cos 2\theta = 0 \quad \because 0 \leq 2\theta \leq 2\pi$ より $2\theta = \frac{\pi}{2}, \frac{3\pi}{2} \quad \therefore \theta = \frac{\pi}{4}, \frac{3\pi}{4}$

(2) 判別式を用いてみくと。

$$\frac{D}{4} = (\cos \theta)^2 - \sin^2 \theta < 0 \quad \therefore \cos 2\theta < 0$$

$$\therefore \frac{\pi}{2} < 2\theta < \frac{3\pi}{2}$$

$$\therefore \frac{\pi}{4} < \theta < \frac{3\pi}{4}$$



(3) (2) より $0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{4}$, $\frac{3\pi}{4} \leq \theta \leq \pi$ の範囲で実数解をもつ。
 $\rightarrow \textcircled{1}$

$$(軸) = -\frac{-2\cos \theta}{2} = \cos \theta < 0 \quad \therefore \frac{\pi}{2} < \theta \leq \pi \quad \rightarrow \textcircled{2}$$

$$f(0) = \sin^2 \theta > 0 \quad \therefore \text{これは } 0 < \theta < \pi \quad \rightarrow \textcircled{3}$$

① ② ③ より

右図より $\frac{3\pi}{4} \leq \theta < \pi$

